# 一般財団法人 明石コミュニティ創造協会 2019 年度事業報告書

# 2019 年度 総括

複合型交流拠点ウィズあかしの指定管理運営を始めて 3 年が経過しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、3 月の主催事業は中止・延期、貸室も多くがキャンセルとなってしまいましたが、それまでの運営は順調で、稼働率も増加傾向にありました。徐々に、利用者層も、利用内容も幅が広がってきていると言えます。

事業面では、ウィズあかしの運営を支えるサポーターが大変活躍した 1 年でした。あかし楽歴史講座の運営や情報ライブラリーの管理、つながりサロンをはじめとする様々なサロン運営などを、多くのボランティアと一緒に行うことができました。

市民みんなでつくるウィズあかしを考える会議「ウィズあかし運営委員会」の中でも、前向きな意見やアイデアが多く出され、「市民と一緒につくる公共施設」を徐々に実現できつつあると感じています。

こういった市民参画のプロデュース力が評価され、11月23・24日に開催された「2019B-1グランプリ in 明石」では、約2,000人のボランティアをマネジメントする大役を任されました。イベント開催までの研修会や説明会の実施、活動マニュアルの整備、チーム編成等を当法人が担いました。当日は市民ボランティアが大変活躍し、成功裏に終わっています。

協働のまちづくり推進事業においては、新たに中学校コミセンの改革モデル事業に着手しました。今年度は初年度ということもあり、モデルコミセンを中心に現状把握を進めるとともに、いくつかの市民講座の中で、試行的な事業を実施しました。明石市のコミュニティ施策において、その中心的な役割を担ってきたコミセンですが、時代が経過するとともに、変化を求められています。地域で暮らす様々な市民にとって必要とされるコミセンに向けて、2020年度は具体的な動きを進めていく予定です。

最後に、2019 年度の特筆すべきこととして、あかし市民広場の指定管理運営について検討をした 1 年だったことが挙げられます。結果的に、2020 年度からの指定管理受託にはつながりませんでしたが、あかし市民広場の在り方を考える中で、当法人の強みや課題を再認識する機会につながりました。2020 年度はあかし市民広場で開催される自主イベント事業のいくつかに関わる予定ですが、当法人の強みを活かしつつ、中心市街地のにぎわい向上に貢献したいと考えます。

2019年度の各事業の詳細は以下のとおりです。

# 1. 公共施設の管理運営事業-複合型交流拠点ウィズあかしの運営-

施設の稼働率は 2 月中旬ごろまでは前年度よりアップしており、順調に右肩上がりで推移していたが、2 月下旬からは新型コロナウイルス感染症の影響で、キャンセルが相次ぎ、最終的には 65.8%と残念ながら前年度より 2.9 ポイント下がるという結果となった。1 年全体を見ると、Wi-fi 環境や床材張替なども行うことができ、より一層利用しやすい施設となるよう工夫ができた。徐々に、利用者の幅は広がっており、満足度も高い。

事業面においては多くの市民ボランティアによる「サポーター」と一緒に活動した1年だった。あか し楽歴史講座やつながりサロン、情報ライブラリの管理など、ボランティアが関わってくれたことによ り、職員は新規事業の企画や相談・コーディネートに注力することができた。多様なサロンが充実して きたことも成果である。

ウィズあかし登録団体 188 団体(すでに退会した団体も含む)に配布したアンケート調査(回収率 60.6%)を見ると、4割近くの団体が活動拠点としてウィズあかしを活用しているという結果も出ており、ウィズあかしが拠点となっていることが明らかとなった。

また、団体同士の協働も生まれつつあり、アンケート調査の中では、61.3%の団体がウィズあかし登録団体同士で協働しているという結果も出ており、ウィズあかしをきっかけに新たな団体とのコラボレーションが生まれていることが伺える。

なお、今年度の動きとして、ウィズあかしで導入している施設予約システム(WEB 予約の仕組み)が評価され、明石市内の他の公共施設でも導入の動きにつながったことがある。ウィズあかしだけで活用していた施設予約システムが、明石市の複数の公共施設と共同で使うシステムとなった。その際、他施設の導入に向けてサポートをするとともに、ウィズあかしのシステム利用登録の整理も行うことができた。

#### 1. 施設の管理運営

#### (1) 開館日数・来館者数・稼働率等

開館日数	308 日間	台風 10 号の影響により、8 月 15 日(木)の開館時間を 9 時から 12 時までとし、12 時以降を臨時休館とした。
来館者数	265,171 名	(内訳)有料施設:173,992 名 無料施設: 13,120 名 フリースペース:78,059 名
有料施設の 稼働率	65.7%	明石市生涯学習センター: 63.4% あかし男女共同参画センター: 73.4%

# (2) 貸室別稼働率

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間稼働率
	H31	70.0	71.6	75.6	70.5	71.6	77.3	77.8	81.4	72.9	79.9	88.0	32.7	72.4
<b>共</b>	H30	66.7	64.7	73.7	71.8	69.8	82.5	84	86.5	62.8	72.9	79.9	78.4	74.5
	H29	63.5	57.9	82.0	99.0	89.3	72.4	75.0	75.0	70.1	71.3	85.4	72.2	76.1
	H28	60.0	59.0	67.0	67.0	61.0	70.0	69.0	70.0	67.0	75.0	76.0	70.0	67.6
	H31	82.7	70.4	82.1	78.2	75.3	84.0	80.2	83.3	83.3	73.6	86.7	50.0	77.5
₩₩ <b>₩</b>	H30	69.2	74.4	91.0	75.6	70.4	81.3	87.2	84.6	71.8	84.7	88.9	79.0	79.8
学習室702	H29	30.8	51.3	73.3	95.7	84.9	57.7	75.6	82.1	72.2	69.4	81.9	81.5	71.4
	H28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	H31	67.1	61.7	80.8	74.4	71.6	86.7	75.3	79.5	76.4	750	80.0	29.5	71.2
学習室703	H30	56.5	70.5	82.1	71.8	70.4	79.5	85.9	82.1	74.4	79.2	83.3	74.1	75.8
于日主 7 0 3	H29	61.5	69.2	85.7	94.3	88.9	70.5	69.2	71.8	65.3	76.4	88.9	75.3	76.4
	H28	54.0	60.0	71.0	75.0	67.0	72.0	77.0	76.0	67.0	88.0	81.0	43.0	69.3
	H31	63.5	59.3	72.4	66.9	58.6	76.0	69.8	78.8	60.6	65.7	73.3	16.7	63.5
学習室704	H30	57.9	54.5	80.1	69.9	64.8	78.9	80.1	82.7	66.7	72.9	72.6	69.8	70.9
, 112, 0	H29	60.9	63.5	76.6	55.2	65.0	87.1	76.9	76.9	68.1	64.6	79.2	71.0	70.4
	H28	60.0	64.0	73.0	73.0	64.0	70.0	79.0	79.0	63.0	69.0	81.0	67.0	70.2
	H31	77.4	67.9	83.3	69.5	76.5	88.0	79.0	87.2	76.4	72.0	85.3	34.0	74.7
学習室801	H30	75.3	64.1	84.6	76.9	67.3	88.7	89.1	93.6	76.9	76.1	77.1	82.6	79.4
	H29	71.2	71.7	82.6	67.0	70.0	74.4	76.3	83.3	70.8	68.8	80.6	84.6	75.1
	H28	75.0	79.0	82.0	82.0	70.0	78.0	84.0	88.0	75.0	75.0	90.0	75.0	79.4
	H31	64.0	65.4	75.6	70.5	58.0	70.7	65.4	83.3	63.9	55.6	78.7	36.4	65.6
学習室802	H30	56.4	61.5	65.4	69.2	64.2	75.7	74.4	79.5	75.0	56.4	77.8	61.7	68.1
	H29	17.9	40.3	69.3	64.1	65.4	69.2	53.8	66.7	58.3	55.6	70.8	66.3	58.1
	H28	21.0	23.0	20.0	29.0	25.0	25.0	37.0	11.0	-	-	-	-	23.9
	H31	<b>56.2</b> 52.6	<b>55.6</b> 48.7	69.2	<b>69.2</b> 66.7	<b>72.8</b> 58.0	74.7	<b>69.1</b> 74.4	<b>82.1</b> 79.5	73.6	<b>64.8</b> 64.1	<b>74.7</b> 79.2	<b>30.8</b> 70.4	66.1
学習室803	H30 H29	60.3	59.5	62.8 56.4	61.5	63.8	65.3 60.3	64.1	67.9	65.3 55.6	50.0	68.1	65.0	65.6 61.0
-	H28	61.0	74.0	73.0	75.0	70.0	74.0	69.0	82.0	68.0	70.0	79.0	60.0	71.3
	H31	82.7	88.9	87.2	89.7	74.1	89.3	88.9	88.5	84.7	88.9	86.7	60.3	84.2
	H30	92.3	83.3	93.6	80.8	87.7	85.1	92.3	88.5	84.7	76.9	86.1	90.1	86.8
学習室804	H29	89.7	84.6	88.5	91.0	84.0	83.3	87.2	87.2	84.7	90.3	93.1	93.8	88.1
	H28	84.0	83.0	83.0	86.0	89.0	79.0	91.0	92.0	86.0	81.0	88.0	82.0	85.3
	H31	21.3	32.1	41.0	39.7	33.8	38.7	53.1	58.4	41.2	26.4	60.0	12.8	38.2
	H30	28.8	30.8	34.6	38.5	29.6	40.3	43.6	50.0	53.6	38.5	48.6	36.3	39.4
調理実習室	H29	2.6	9.0	10.3	22.7	19.8	14.1	35.9	35.9	22.2	25.7	39.7	35.1	22.8
	H28	3.0	16.0	10.0	17.0	14.0	7.0	19.0	17.0	12.0	9.0	13.0	8.0	12.1
	H31	62.7	51.9	62.8	64.1	51.9	69.3	67.9	74.4	56.9	75.0	73.3	32.1	61.9
4mmin	H30	48.7	55.1	59.0	55.1	35.8	65.2	74.4	66.7	59.7	61.5	75.0	64.2	60.0
和室	H29	47.4	50.0	48.0	51.3	44.3	39.7	59.0	64.9	51.4	52.8	61.1	56.3	52.2
	H28	43.0	53.0	57.0	56.0	42.0	55.0	60.0	71.0	59.0	55.0	65.0	53.0	55.8
	H31	50.0	33.3	65.3	67.9	63.0	50.0	68.9	73.1	58.0	48.6	66.7	11.0	54.7
子午線ホール	H30	43.2	51.3	65.8	67.9	54.3	62.9	65.8	71.4	54.4	47.2	49.3	51.9	57.1
3   NOV.31. 70	H29	52.6	55.1	46.1	66.7	48.1	33.3	62.8	68.1	55.6	45.8	65.4	43.2	53.6
	H28	35.0	34.0	39.0	44.0	47.0	46.0	51.0	52.0	45.0	27.0	43.0	35.0	41.5
	H31	39.7	42.0	42.3	41.6	58.0	48.0	55.6	67.9	41.7	54.2	54.7	32.9	48.2
リハーサル	H30	36.8	50.0	52.6	44.9	43.2	54.2	67.9	64.1	55.6	54.2	45.8	48.1	51.5
スタジオ	H29	35.9	44.9	48.5	50.0	57.5	41.0	44.9	55.1	55.6	55.6	66.2	54.3	50.8
	H28	34.0	42.0	56.0	40.0	57.0	58.0	65.0	64.0	70.0	65.0	58.0	44.0	54.4
	H31	70.7	70.4	73.1	69.2	77.8	84.0	84.0	84.6	81.9	86.1	88.0	57.7	77.3
音楽練習室 1	H30	75.6	70.5	79.5	75.6	77.8	88.9	85.9	88.5	79.2	81.9	69.4	74.1	78.9
	H29	74.4	71.8	80.3	78.2	85.2	91.0	84.6	75.6		83.3	84.7	81.5	80.9
	H28	96.0	97.0	89.0	80.0	79.0	93.0	94.0	82.0		90.0	87.0	83.0	88.1
	H31 H30	<b>46.7</b> 46.2	<b>43.2</b> 34.6	<b>38.5</b> 41.0	<b>43.6</b> 39.7	<b>49.4</b> 60.5	<b>61.3</b> 74.6	<b>65.0</b> 66.7	<b>65.4</b> 56.4	<b>58.3</b> 48.6	<b>54.2</b> 58.3	<b>64.0</b> 50.0	<b>29.5</b> 54.3	<b>51.6</b> 52.6
音楽練習室 2	H30 H29	39.7	53.8	54.3	39.7 46.2	49.4	38.5	44.9	55.1	48.6 51.4	58.3	63.9	44.4	49.7
	H29 H28	39.7	53.0	51.0	46.2 54.0	49.4 52.0	62.0	60.0	52.0		61.0	61.0	56.0	54.1
		62.7	59.5	69.5	66.0	64.7	72.9	72.2	78.6			76.9	32.4	65.8
ウィズあかし	<b>H31</b> H30	<b>62.7</b> 60.4	<b>59.5</b> 58.7	70.8	66.1	62.1	7 <b>2.9</b> 74.9	72.2 77.9	78.6 78.6		<b>66.9</b> 68.5	76.9 71.4	<b>32.4</b> 68.6	68.7
全室平均	H29	50.4	55.9	64.4	67.4	65.4	59.5	65.0	69.0		61.7	73.5	66.0	63.3
ユエトの	H28	51.2	56.7	59.3	59.8	56.7	60.7	65.8	64.3		63.8	68.5	56.3	60.4
	1140	51.2	50.7	59.5	ეუ.გ	JU. /	00.7	00.8	04.3	02.3	სა.გ	სი.ე	50.5	00.4

# (3) 修繕・保守・点検等

## ① 修繕

センター設置から十数年が経過し、各種設備の老朽化が進んでいる。特にホールの空調設備や調光器、中央監視装置等ホールの設備に多数の故障が発生した。都度、応急処置や修繕を行い収益や稼働率への影響を最小限にとどめた。

また、点検時に異常が認められた箇所や、故障した際に施設の運営に多大な影響を及ぼす老朽化設備をまとめ、明石市に報告及び修繕の提案を行った。

#### ② 保守・点検等

各設備の定期的な点検を実施し、必要に応じて修繕した。

点検日	点検内容	点検業者		
4月3,4日	A V 機器点検	大阪共立		
4月18日	冷却塔清掃・ファンベルト点検整備	日本都市管理		
4月19日	空調熱源冷暖房各シーズンイン点検調整 冷暖房切り替え作業 R-1,R-2 調整及び点検	日本都市管理		
5月20,21,22日	空調用自動制御保守点検	日本都市管理		
5月16日	中央監視設備点検	パナソニック LS エンジニアリング(株)		
6月17日	ばい煙測定	日本都市管理		
6月26日	AHU プレフィルター洗浄	日本都市管理		
6月28日	舞台吊物装置保守点検	大阪共立		
7月8~30日	PAC フィルター洗浄	日本都市管理		
9月21日	AHU 点検清掃	日本都市管理		
9月24日	排水管洗浄作業	日本都市管理		
10月 28,30日	AHU プレフィルター交換、 AHU 高性能フィルター交換廃棄	日本都市管理		
10月30.31日	ホール調光設備保守点検	大阪共立		
11月5日	冷却塔槽内・ストレーナ清掃 冷却塔ファン・ファンベルト点検整備	日本都市管理		
11月25日	空調熱源冷暖房各シーズンイン点検調整 冷暖房切り替え作業 R-1,R-2 調整及び点検	日本都市管理		
12月10日	ばい煙測定	日本都市管理		
12月26日	舞台吊物装置保守点検	大阪共立		
1月14~27日	PAC フィルター洗浄	株式会社 日本都市管理		
2月18日	AHU プレフィルター洗浄	株式会社 日本都市管理		

#### (4) 無料施設の運営

#### ① ブース・フリースペースの運営

市民活動団体の主体的な活動を支援するために 2017 年 4 月からグループ活動スペース (ブースおく・てまえ)とフリースペースを設置し、2019 年からは新たに活動スペース A・Bを設置した。グループ活動スペースは団体内の打ち合わせに使用できるようにしており、フリースペースはイベント実施や展示など、活動の PR ができる。新設の活動スペース A・Bは両方の使い方ができる活動の場として有効に利用されている。オープンスペースでの開催のため、多くの方に活動を知ってもらうことができ、その中から団体同士が共にイベントを行う事例が生まれるなど、新たに出会い、つながる場になっている。

◎イベント実施数:206件

◎フリースペース来場者数:78,059名

◎ブースおく・てまえ利用者数:7,268名

#### ② 7階ラウンジの運営

軽作業や打ち合わせができるように家具レイアウトの変更や、ハイカウンターを設置し居心地よい 空間として整えた。

また、設置している図書コーナーを図書ボランティアと共に運営し、季節や社会情勢に合わせた本の企画展示や、利用者がより利用しやすくなるよう貸出図書の整理を行うなど、図書ボランティアと 共に行うことでより学びの空間として利用しやすくなるよう整えることができた。

## ③ 情報コーナーの運営

8 階情報ラックのチラシの整理を行い、市民が多くのイベントや情報に出会える機会とした。

#### (5) 市民みんなでつくるウィズあかしを考える会議「ウィズあかし運営委員会」の開催

市民参画による運営を行うウィズあかしでは、多様な市民の意見が反映され、市民と一緒に運営していくウィズあかしを目指し、ウィズあかし運営委員会「市民みんなでつくるウィズあかしを考える会議」を2018年度から設置している。2019年度は第1期2年目の最終年として、これまでの意見を取りまとめながら、これからのウィズあかしのあり方について運営委員と議論を積み重ねた。

◎委員人数:14名

# 【開催内容】

	開催日時	内容	参加者数 (延べ人数)
第 4 回	7月12日(金) 18:00~20:00	<ul><li>① これまでの運営委員会の振り返り、明石の生涯学習の経緯紹介</li><li>② 事例紹介 土橋ひとみ 氏 「大阪市における生涯学習施策の概要と大阪市総合生涯学習センターの取り組みについて」</li><li>③ 意見交換「明石においてどのように生涯学習を推進・展開していくべきか」「ウィズあかしの役割は」</li></ul>	9名
第 5 回	11月11日 (月) 18:00~20:00	<ul> <li>即石の男女共同参画の取り組み紹介</li> <li>事例紹介 三井ハルコ 氏         「川西市における男女共同参画施策の概要と川西市男女共同参画センターの取り組みについて」     </li> <li>意見交換         「明石においてどのような男女共同参画を推進・展開していくべきか」「市民の主体的な活動をどのようにサポートすべきか」     </li> </ul>	8名
第6回	2月16日(日) 18:00~20:00	<ul><li>① 報告「これまでの振り返りとこれからのウィズあかし」</li><li>② 意見交換「これからのウィズあかしに期待する役割」</li><li>③ 共有「第2期ウィズあかし運営委員会の実施方針」</li></ul>	10 名

# (6) サポーターの活動

市民参画による運営を行うウィズあかしでは、サポーター制度を設け事業の企画実施に参画できる仕組みを運営している。例えば、サロンに参加した人がサポーターとして運営に参加するなど、市民のエンパワメントの機会となっている。またサポーター同士の話し合いから、新事業が企画されはじめている。

#### 【登録サポーター数】

つながりサロン (8 名) / 手話通訳 (3 名) / 文字通訳 (2 名) / 図書 (21 名) / あかし楽 (11 名)

# 【サポーター発信で企画した事業】

開催日	テーマ	内容	参加者数 (延べ人数)
7月7日(日)	ウィズあかし七夕まつり	大型布絵芝居・紙芝居の読み聞かせ・映写機 による懐かしの映画上映・工作ワークショッ プなど、	215 名
毎月第2水曜	ョルつな ~夜のつながりサロン~	市民サポーター (ボランティア)	43 名

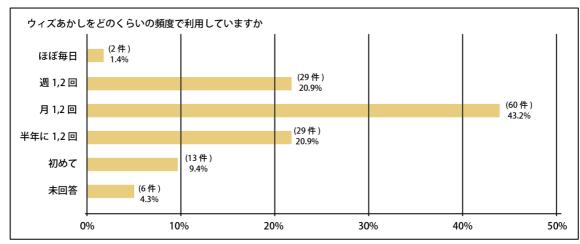
#### (7) 満足度アンケート調査の実施

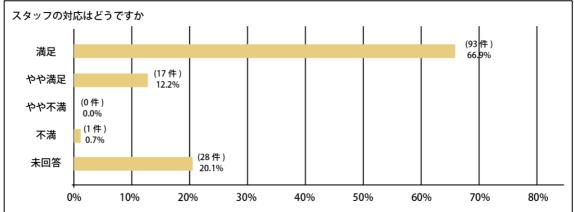
ウィズあかしの現状を把握するとともに、利用者の潜在的なニーズを把握するためにウィズあかし利用者満足度アンケート調査を実施した。例年と定点比較をするために、昨年度と同じ3月15日~4月14日の1ヶ月間で実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、回収数が大幅に少なかった。しかし、回収した結果を見ると、満足度は高いことが伺えた。個別意見の中でもスタッフに対しても感謝の声をたくさんいただくことができた。

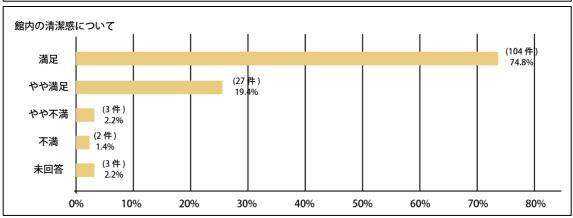
期 間:2020年3月15日(日)~4月14日(火)

調査方法:ウィズあかし5カ所にアンケート用紙と回収箱を設置し回収した

回答数:139件







## 2. 複合型イベント・講座の実施

#### (1) 複合型イベント・講座の実施

生涯学習、男女共同参画、市民活動のそれぞれの分野が連動した複合型の事業を実施した。指定管理初年度から実施してきたウィズあかし登録団体の交流機会「ウィズミーツ mini」は、ワンフロアで実施することで一体感を作り、これまで以上に団体の交流に重点を置いて実施した。新たに実施した「ウィズあかし七夕まつり」は七夕と親子を切り口に、サポーターや登録団体など多様な主体がブース出展を行うことで、新たな利用者の参加を促しつつ、市民の交流機会として実施した。「クッキングアカデミー」では育児中の母親である講師から、ライフワークバランスや子どもとのコミュニケーションを促す料理教室を行った。

#### 【実施内容】

開催日	イベント名	内容	参加者数 (延べ人数)
10月13日(日)	ウィズミーツ mini	市民活動団体によるステージ発表、ブース 出展やパネル展示による活動の PR と参 加者同士の交流やつながりづくりを支援 する。 出展団体:14団体(登録団体)	約 100 名
6月14日(金)	クッキングアカデミー 「なにかを始めたい」ママへ届 けたい!パン教室で見つけた 「ワタシ」ライフ	市民講師による調理実習講座。2歳以上の 児童と母親を対象。子育てと仕事の両立 を考える機会として実施。	18 名
7月7日(日)	クッキングアカデミー パパと一緒にこねこねおかず パンづくり	市民講師による調理実習講座。小学生以上 の児童と父親を対象。内閣府の「おとう飯 キャンペーン」の一環として実施。	22 名
7月7日(日)	ウィズあかし七夕まつり	ウィズあかしのサポーターや市民活動団体の活動発表やそれぞれが交流の機会として開催。 ・サポーターによる映画上映や読み聞かせ・市民活動団体のワークショップや読み聞かせ、布絵芝居	215 名
3月15日(日)	男飯!美味しい読書会 ~おもてなしイタリアンを食 べながら、本について語り合お う~	あかし市民図書館との共催事業。男性を対象に、調理実習と読書会で多様な価値観に触れる場として企画。コロナウイルスの感染防止を鑑み、開催を延期した。	7名 (応募者数)

#### (2) 多様な交流の場「クロスカフェ」の開催

様々な分野の誰もが気軽に参加できる交流の場「クロスカフェ」では、例年実施している「つながりサロン」や読書や美術をテーマにした各種サロンに加え、日中に集まれない方を対象とした交流機会「ヨルつな~夜のつながりサロン~」や、各種分野の先輩に話を聞く「教えて!先輩」など新たなクロスカフェも開催した。

# 【実施内容】

開催日	テーマ	講師	応募数	参加者数 (延べ人数)
毎月第1・3 木曜日	つながりサロン	市民サポーター (ボランティア)	_	222 名
毎月第2水曜	ョルつな 〜夜のつながりサロン〜	市民サポーター (ボランティア)	_	43 名
毎月第4水曜日	おとなのぬりえサロン	市民サポーター (ボランティア)	_	83 名
6月12日(水)、 10月9日(水) 2月12日(水)	絵本の時間	女性のための相談室 カウンセラー	23 名	20 名
8月23日(金) 12月10日(火)	美術の時間	女性のための相談室 カウンセラー	26 名	13 名
5月23日(木) ~1月23日(木)	ママ&パパのための 読書カフェ (全 5 回)	_	47 名	38 名
1月18日(土)	ママの国際交流おしゃべり café	_	17 名	16 名
2月29日(土)	教えて!先輩わたしサイズの 起業のヒント	高田 由美 氏高橋 恵 氏	11 名	7名



▲おとなのぬりえサロン



▲教えて!先輩わたしサイズの起業のヒント

## 3. 男女共同参画事業

昨年度に引き続き、相談事業を行っている強みを生かし、女性カウンセラーが現場でのニーズから 企画した講座を実施した。目的や対象に合わせて、「クロスカフェ」や「女性のための相談室」とも連 動し、展示や講座、ワークなどを組み合わせ、きめ細やかな支援を行っている。また、従来女性に限 定していた就業相談の門戸を男性に広げたり、市民団体との共催により LGBT 当事者を対象としたサ ロンを開催するなど、より多くの人に必要な情報や支援が届くよう、事業の拡充を図った。

#### (1) 女性のための相談室

女性のための相談室では、女性のさまざまな悩みに対して女性問題カウンセラーが対応する「女性のための相談」、就業相談員による「女性のための就業相談」のほか、月に数回、弁護士やキャリアカウンセラーによる「女性のための法律相談」「女性のためのチャレンジ相談」を実施した。また、相談者の悩みに応じて各種相談機関を案内するなど、他機関との連携強化にも取り組んでいる。

「女性のための相談」の相談総件数は 1,002 件で、前年度に比べて 23%減となった。これは 4 月、5 月に相談員交代のため、相談電話の受付時間を短縮して対応したこと、また 3 月には新型コロナウイルス対策で子どもや夫が在宅しているため架電しにくくなったことや、外出を自粛したことが関係している。

「女性のための就業相談」の新規相談者数は、前年度比 27%増の 188 名であった。その理由として、これまで女性のみを対象としていた就業相談に加えて、男性も相談ができる相談窓口として「履歴書・職務経歴書の作成相談」をスタートしたことによる。この相談には男性の相談が過半数を占め、就業相談の幅を広げることにつながった。また昨年度に引き続き子育て支援センターでの出張相談も実施しており、センター内だけでなく地域において相談に対応する姿勢を維持している。チャレンジ相談では働いている方のニーズに対応するため、夜に 2 日相談日を設けた。5 名が相談に来館され、「仕事帰りに相談できる」と好評であった。

#### ① 女性のための相談

実施日	内容		人数・件数内訳		
,1,133   133	女性問題カウンセラーによる女性の	電話相談	768 件	新規 347 件/再相談 421 件 ※内DV関連相談:79 件	
火曜~土曜	様々な悩みに対する電話・面接相談	面接相談	234 件	新規 110 件/継続 124 件 ※内DV関連相談:82 件	

# ② 女性のための法律相談

実施日	内容	人数・件数内訳				
第 3 木曜日 (計 12 回)	女性弁護士による無料法律相談	面接相談	・離婚問題:21件 ・相続問題:3件 ・親子関係:2件 ・夫婦関係:2件 ・親戚関係:1件 ・男女関係:1件 ・損害賠償:1件 ・金銭問題:1件 ・不動産 :1件 ・隣人関係:1件 ・DV :1件 計35件			

# ③ 女性のための就業相談

実施日	内容	人数・件数内訳			
火曜~土曜	女性就労相談員による相談	相談件数 相談件数 (うち出張相談 18 名)			

# ④ 履歴書・職務経歴書の作成相談

実施日	内容	人数・件数内訳			
第3土曜	女性就労相談員による応募書類の作成相談	相談件数	23 件 ※男性 12 件、女性 11 件		

## ⑤ 女性のためのチャレンジ相談

実施日	内容		人数・件数内訳
隔月1回(計8回)	女性キャリアカウンセラーによる個別面接 相談 ※兵庫県との連携事業	面接相談	21 件 ※うち 5 件は夜のチャレンジ相談

# (2) 男性のための電話相談

「男らしさ」というとらわれの中で、誰にも言えず一人で悩みを抱え込んでしまっている男性に相談の場を提供するため、2019年1月より実施している。

# 【実施内容】

実施日	内容	人数・件数内訳	
毎月1回 (計12回)	男性相談員による男性の様々な悩みに対す る電話相談	電話相談	20 件

# (3) 講座・セミナーの開催

#### ① 多様性に関する普及啓発事業

従来の「らしさ」にとらわれない、それぞれの個性や価値観を認め合う社会を目指し、講座や展示を 行った。

# 【講座・交流会】

開催日	テーマ	講師	応募数	参加者数
2月8日(土)	人権セミナー「どん な性の在り方も排除 されない園・学校・ 職場・地域とは?」	にじいろ i-Ru 田中一歩氏 近藤孝子氏	28 名	29 名
3月28日(土)	LGBTQ おとなのサロン	※LGBTの当事者と支援者で構成された市民団体「ソラニジ・アカシ」共催	10 名	5 名
3月29日(日)	LGBTQ ユースのため のひだまりスペース	※LGBTの当事者と支援者で構成された市民団体「ソラニジ・アカシ」共催	5名	0名

# 【展示】

開催日	テーマ	展示場所
6月23日~6月29日	男女共同参画週間	7 階入口
1月30日~2月11日	LGBT 支援	7 階ウォールギャラリー・9 階子午線ホール入口
1月30日~2月11日	男女雇用機会均等法	7 階ウォールギャラリー

# ② エンパワメントセミナー

自分を大切にし、相手を大切にする考え方を学ぶ講座を体験型で開催した。

開催日	テーマ	講師	応募数	参加者数
7月28日(日)	ココロとカラダを癒すマインドフル ネス	関西大学人間健康学部准教 授 小室弘毅 氏	41 名	34 名
8月3日(土)	男がイキヌクためのコミュニケーシ ョン	『男』悩みのホットライン代 表 福島充人 氏	15 名	12 名
9月11日 (水)	私は私。母は母。	フェミニストカウンセリン グ堺 加藤伊都子 氏	24 名	17名
11月27日(水)	女性のための自己尊重セミナー	ウィメンズカウンセリング 京都 小松 明子 氏	24 名	22 名

#### ③ 自分らしく働くための「就業」に関する講座

それぞれのライフステージにあわせた働き方を選択するための知識や方法を学ぶための講座を開催 した。

開催日	テーマ	講師	応募数	参加者数
6月29日(土)	折れない心を育てるセルフケア講座	産業カウンセラー 安納 吉野 氏	41 名	30 名
8月29日(木)	やりたい仕事で生きていこう!ワタシス タイルで創業準備	<ul><li>㈱コトバノミカタ</li><li>本下 瑞穂 氏</li><li>・言の葉 OFFICE かのん</li><li>川邊 暁美 氏</li></ul>	5名	11 名
9月5日(木)	出張就業相談	女性のための相談室	13 名	13 名
2月6日(木)	(子育て支援センターおおくぼ)	就労相談員	5名	5 名
10月8日(火)	働きたいママの再就職準備セミナー ※ハローワーク明石共催	社会保険労務士 高見 香織 氏	64 名	52 名
10月16日 (水)	子育てと仕事の両立支援セミナー ※ハローワーク明石共催	兵庫労働局雇用環境・均 等部指導課 厚生労働事 務官 久保 邦成 氏	15 名	10 名
2月1日(土)	出張!女性のための働き方セミナー「夢 をカタチにするヒントを見つけよう!」 ※兵庫県共催	中小企業診断士 宇田 名保美 氏	19 名	17 名





▲男がイキヌクためのコミュニケーション

▲人権セミナー

# (4) 他団体との連携事業

事業の実施や施設の運営に関して、近隣の公共施設や専門的なスキルを持った市民の方々と連携し実施した。

# 【連携内容】

連携機関	連携内容
兵庫県	<ul><li>・女性のためのチャレンジ相談(通年)</li><li>・女性のための働き方セミナー(2月1日)</li></ul>
明石商工会議所	・起業応援セミナー(6 月 16 日)
日本政策金融公庫明石支店	・創業セミナー(8月29日)

# 一般財団法人明石コミュニティ創造協会 2019 年度事業報告書

ハローワーク明石	・女性のための就業相談(通年) ・働きたいママの再就職準備セミナー(10月8日) ・子育てと仕事の両立支援セミナー(10月16日)
ソラニジ・アカシ	・LGBTQ おとなのサロン (3月28日) ・LGBTQ ユースのためのひだまりサロン (3月29日)





▲働きたいママの再就職準備セミナー

# 4. 生涯学習推進事業

2019年度はこれまで実施してきた内容を拡充させることに重きをおき、まちの愛着を高める講座や、市民の学びの成果を社会に活かしていくための事業を開催した。

あかし楽講座ではふるさと散歩、歴史講座ともに定員を上回る申込があり、ニーズの高さを感じられた。また講座の申込者から運営サポーターを募り、講座の受付や進行のサポートを担うなどし、市民の主体性を育てる機会にもつなげた。

みんなの講座では前期・後期の2期実施し、計13名の講師デビューを支援した。新型コロナウイルスの影響で延期されたが、みんなの学校は昨年度から市民講師18名、講座数31講座と大幅に増えており、市民による学びの機会づくりが広げられつつある。

#### (1) みんなの学校 2020 の開催 ※新型コロナウイルスの影響で延期

みんなの講座の発展版として、昨年度のみんなの学校先生、過去のみんなの講座講師や、一般応募を対象に、特技や趣味を活かして講座を開催したい市民講師による授業を開講し、気軽の学びを楽し

むイベントとして開催予定であった。また、「交流会& ぷち講座」と「直前説明会」を行い、先生同士の交流や 開催に向けてのモチベーションの向上をした。

◎開催日:2020年3月7日(土)、3月8日(日)

◎参加者数:なし

◎講師数:55名

◎講 座 数:68 講座



#### (2) 講座・セミナーの開催

#### ① あかし楽講座現地特別編講座「ふるさと散歩~谷八木川を遡上する 大久保町の海から山へ~」

あかし学実行委員会(委員10名)により企画・運営した。明石市内の史跡や神社仏閣などの文化遺

産を歩き、普段見慣れた街並みの中の魅力を再発見した。当日は、講師と事前研修を受けたガイドボランティア(3名)がこまめな安全確認や現地解説を行った。

◎開催日:2019年4月13日(土)

◎応募者数:52名

◎参加者数:19 名



# ② あかし楽歴史講座「明石市制 100 年-これまで、そして、これから」(全 10 回の連続講座)

あかし学実行委員会(委員 10 名)により企画・運営した。2019 年度のテーマは明石市制施行 100 周年の節目に子午線、教育、交通など様々な切り口で明石市のあゆみについて考える機会となった。

◎参加者数:113名

開催日	テーマ	講師	参加者数
6月1日(土)	総論 明石市のあゆみ	明石文化財調査団 山下 俊郎 氏	95 名
6月15日(土)	「子午線のまち・明石」の 成立	神戸史学会 義根 益美 氏	84 名
6月29日(土)	中部幾次郎一明石から『朝鮮』へ一	兵庫地理学協会 片山 俊夫 氏	87 名
7月13日(土)	生沼勝とイチバンボシの歌	神戸史学会 吉岡 保 氏	85 名
8月3日 (土)	明石の空襲	兵庫地理学協会 森本 眞一 氏	82 名
8月31日(土)	戦後の市町村合併	神戸女学院大学非常勤講師 本井 優太郎 氏	78 名
9月14日(土)	明石市における戦後新教育	京都ノートルダム女子大学こども教育学科准教 授 大西 慎也 氏	79 名
9月28日 (土)	明舞団地の開発と明石	神戸学院大学人文学部准教授 矢嶋 巌 氏、 神戸学院大学総合リハビリテーション学部准教 授 糟谷 佐紀 氏	59 名
10月26日(土)	近代交通の発達と明石	神戸史学会 宮本 博 氏	45 名
11月2日(土)	シンポジウム『これからの 明石~歴史と文化のまち ~』	コーディネーター:森本 眞一 氏、 パネラー:山下 俊郎 氏、吉岡 保 氏、宮 本 博 氏、矢嶋 巌 氏	62 名

#### ③ 市民企画「みんなの講座」

市民自らが趣味や特技を活かして講師となる講座の企画を募集。事前研修・会場確保・広報等の支援を行い、前期8名、後期5名が講師デビューをした。

◎実施数:前期8企画(応募数22企画)、後期5企画(応募数28企画)

#### 【実施内容】

	開催日	テーマ	講師	応募数	参加者数 (延べ人数)
	4月7日(日) 6月16日(日) 7月28日(日)	親子で体幹トレーニング	理学療法士 古賀田 万典 氏	28 名	29 名
前期	4月20日(土) 5月11日(土) 5月25日(土)	親子 3 代で楽しみながら心が軽くなる『マイライフデザイン講座』	社会保険労務士 北村 滋郎 氏 ファイナンシャルプランナー 萩原 豊章 氏 ライフデザインメンター 山元 君枝 氏	22 名	34 名
	4月23日(火)	いくつになっても自分らしく~ 美容体操 de 輝くわたし~	社会福祉士、精神保健福祉士	12 名	17 名

	5月14日(火)		渡邊 明日香 氏		
	4月27日(土) 5月11日(土) 5月25日(土)	みんなで作って遊ぼう!自然と あそびの教室	体験学習教育講師 渡辺 壮一郎 氏	47 名	27 名
	5月19日(日) 6月2日(日) 6月9日(日)	漢字・日本語はおもしろい!~ク イズで楽しく学びましょう~	漢字教育士 浦川 幸一 氏	38名	90 名
	5月26日(日) 6月16日(日) 7月14日(日)	教科書にない歴史を知ろう!『明石・関西・日本から世界へ!』〜 缶詰・サラダ油・ビールでひも解く日本の歴史〜	小学校教員 武貞 隆之 氏	31名	46 名
	6月23日(日) 6月30日(日)	はじめまして赤ちゃん!産後ケアリストと作ろう 産後 3 か月までの子育てケアプラン	子育てケアプランナー 出口 史子 氏	8名	18 名
	6月2日(日) 6月16日(日) 6月30日(日)	アドラー心理学で考える 幸せ 感がアップする自分発見講座	経営品質セルフアセッサー 細谷 真人 氏	24名	31 名
	9月19日(木) 10月3日(木) 10月17日(木)	もっと気持ちが伝わるコミュニ ケーション講座〜ママも家族も 笑顔になれる聴き方・伝え方〜	カウンセラー・管理栄養士 弘中 明子 氏	14 名	23 名
	10月5日(土) 10月19日(土) 10月26日(土)	街・暮らしを彩るカラーの世界	色彩検定協会認定講師 沼田 典子 氏	13 名	25 名
後期	10月5日(土) 11月9日(土) 12月7日(土)	逆に考えるスキルで人生を楽に しよう	上級心理カウンセラー 川角 篤子 氏	20名	57 名
	10月6日(日) 10月27日(日) 11月10日(日)	世界でひとつ★自分だけの詩を つくりましょう~わたしの中の ことば探し・創作へ~	詩人 一海 槙 氏	12名	22 名
	12月8日(日) 12月15日(日)	親子で考えよう、これからの自分 の未来!	国家資格キャリアコンサルタント 野口 千里 氏、渡辺 彩子 氏	20 組	10 名



▲みんなで作って遊ぼう!

自然とあそびの教室



▲世界でひとつ★自分だけの詩をつくりましょう ~わたしの中のことば探し・創作へ~

# 5. 市民活動支援事業

2019年度は登録団体制度における支援メニューの見直しを行い、団体にとってより活用しやすい支援を拡充するとともに、団体支援の次のステップを目指すための活動実態調査を実施した。

10月に開催した「ウィズミーツ mini」では、多くの団体が団体間の「つながり」を意識して参加するなど、市民活動を支援する拠点としての認知度が少しずつ高まってきていることを感じる。団体の活動を PR するとともに団体同士がより深く交流し、次へとつながるきっかけづくりを行い、具体的な団体同士のコラボレーション事業につながっている。

2月には「ウィズあかしグループ登録団体等活動実態調査」を実施した。調査の結果、設立から3年 未満の団体が多く、ウィズあかしをきっかけに団体立ち上げが起こったと推察できる。また活動者と しては、若者、男性が多く、徐々に市民活動のイメージが変わりつつある。調査を実施したことによ り登録団体の活動実態や課題などをつぶさに把握できた。今後は、それぞれの団体に合わせたステッ プアップの支援を実施する。活動実態調査と同時に明石市内のNPO法人を訪問し、活動実態のヒア リングや調査を行った。

#### (1) 登録団体制度

フリースペースやブースおく・てまえの優先利用、メーリングリストを活用した情報交換利用、グループロッカーの利用など、様々なサポートを行った。2019 年度は活動スペース A・B を新設し、イベント利用や会議利用など幅広く利用できるスペースを追加運営した。登録団体の情報交換・意見交換の場「ウィズゆう」は年3回開催し、団体同士の横のつながりの交流の場となった。

◎登録団体数:155団体

### 【サポート内容】

メニュー	内容
スペース∞・活動スペース A・B の イベント利用	イベントでの利用ができる
グループ活動スペース (スペース∞、 活動スペース・ブースおく・てまえ) の利用	団体内の打ち合わせや作業のスペースが利用できる
メーリングリストの利用	登録団体のイベント情報を共有できます。自分の団体のPRはもちろん、他 団体の活動の情報収集もできる
グループ活動展示スペースの利用	団体の活動紹介や作品の展示ができる
イベントの受付代行	団体の主催するイベントの申込代行受付を利用できる(有料)
ロッカーの利用	大・小 2 種類のロッカーが利用できる(有料)
印刷室の利用	モノクロ印刷、カラー印刷、長尺印刷
チャレンジグッズの貸出	ドミノ、ビブス、ワークショップグッズ、交流活動グッズ、書籍、えんたく ん(テーブル型模造紙)

#### (2) 生涯学習・市民活動に関する相談・コーディネート

個人の「学びたい」や、団体の活動、次のステップに展開するためのアドバイス、団体同士のコラボを促すコーディネートを行った。また中間支援助成事業を活用して、「市民活動団体のステップアップマップ」を作成した。これは、市民活動団体がさらなるステップアップをするために、広報、つながり、団体運営について次のステップを示した冊子である。団体それぞれが今の活動状況を振り返り、次の活動に繋げるために今後の相談・コーディネートで活用する予定である。

全体を通して、前年度から比較し2倍以上に相談件数が増えるなど、ニーズや認知度が高まってきている。中には団体の認定NPO法人格取得に関する相談や規約改正に関する相談など、より専門性が必要な相談が増えてきている。

### 【実施内容】

メニュー	件数
生涯学習、市民活動に関する相談	139 件
生涯学習、市民活動に関するコーディネート	74 件

#### (3) ウィズミーツ mini の開催

市民活動団体の活動 PR や団体同士が一体となるようなつながるきっかけとして開催した。ブース 出展、パネル展示を中心に日頃の活動紹介と新たなつながりづくりを進めた。交流会を設けて団体同 士が交流する場をつくった。

◎開催日:2019年10月13日(日)

◎内 容:市民活動団体による活動展示、つながる機会づくり

◎参加者:100名





## 6. 広報

複合型交流拠点ウィズあかしを広く市民に知ってもらうため、情報紙の発行やホームページの更新など知名度の向上に努めた。SNS を活用したことで、講座の案内や、センターでの出来事を迅速に伝えられるようになった。また、新たに、図書パスファインダーの発行や情報コーナーの整理を行い、市民のみなさんがより多くの情報に出会えるきっかけとした。

今年度の大きな動きとしては、ウィズあかしに集まってくる様々なイベント情報を広くホームページで発信することを目的に、「まちナビ AKASHI」をイベント情報ポータルサイトとして大幅にリニューアルしたことが挙げられる。明石市内で開催される多様なイベント情報を好みに合わせて探し出せるようにするだけでなく、各校区まちづくり組織が発信する地域情報にもつながる場になるよう工夫した。

### (1) インターネットを活用した情報発信

#### ① ウィズあかしホームページの運営及び更新

ウィズあかしホームページ内の情報紙 With ページを、各号を一覧で見ることができアーカイブできるようになった。また、トップページのスライドショーを活用し、最新の情報に出会いやすい工夫をした。コミ創ホームページでは、告知だけでなくブログ機能を利用して開催したイベントやセミナーなどの要点をまとめ掲載した。

◎年間アクセス数:189,478pv (ウィズあかしホームページ)

#### ② イベント情報ポータルサイト「まちナビ AKASHI」リニューアル

ウィズあかし登録団体や28の小学校区のイベント情報に加え、明石市内で開催される様々なイベント情報をトップページで一覧できるようにし、個人と団体、団体と地域、地域と個人がイベントを通じてつながるきっかけの場とした。



#### ③ 各種 SNS (Facebook、Instagram、Twitter)の運用

各種 SNS を活用して、スピーディーな情報発信に努めた。特に講座の募集情報や貸室の休館情報は、 SNS での情報拡散によってこれまで届かなかった方に伝えられている。他施設や団体、みんなの学校先 生ともフォローし合うことで、お互いの情報交換や拡散につながっている。また、有料広告も利用する ことで拡散力を向上した。

◎フォロワー数: Facebook: 402 Instagram: 135 Twitter: 529

#### (2) 広報誌の発行

#### ① ウィズあかしの情報紙 With の創刊・発行

ウィズあかしのイベントや情報を発信する情報紙として毎月発行している。登録団体のイベント情報や主催事業のレポート、登録団体インタビューコーナーに加え、明石市発行の「まちコレ」から1校区ずつ抜粋し市民や登録団体と地域がつながるきっかけとした。

◎発行部数:毎月1000部発行

# ② 図書パスファインダー (道しるべ) の発行

主催講座のPRやテーマの啓発を目的に、7階図書コーナーに所蔵する関連書籍の紹介を目的としている。

◎発行部数:800 部発行(不定期発行)

# II. 協働のまちづくり推進事業-明石市委託事業 -

# 1. 地域自治の支援事業

地域自治の支援は明石市内全域を対象とした全体支援と校区単位に介入する校区直接支援に分けられる。全体を通して、関わる校区が増えており、それぞれへの関わり方を意識した1年であった。全体支援では、セミナー、講座の開催だけでなく、校区間で視察にいきあうような組織が互いに学び合う関係づくりをおこなった。その他、地域事務局の交流会である地域事務局サロンやまちナビ AKASHI 相談会を実施した。

さらに、今年度は支援者同士の連携にも積極的に取り組んだ。福祉、教育、防災などの分野が、校区 まちづくり組織との協働をすすめており、一つの地域に複数の支援者がアプローチしている。そこで、 この動きが地域の負担とならず、よりよい地域づくりの機会となるように、他部局との情報共有や研修 会を開催した。特に明石市社会福祉協議会とは、情報交換や生活支援コーディネーターとの合同研修を 通じて連携などが進みつつある。

また、今年度の大きな事業の一つが、生涯学習の支援事業として実施した中学校コミセン(以下、中コミ)の運営支援である。錦城・大蔵コミセンをモデルにした実態把握を進め、そのなかでみえた「利用者の固定化」を解決するため、新たなターゲット層を狙った市民講座の企画支援を行った。また、中コミ自体のあり方を見直していくために、「生涯学習ビジョン」改定に向けたサポート、中コミ所長の意識啓発を狙った生涯学習に関するセミナーの企画も行った。

#### (1)校区直接支援

すでに地域交付金を受託している校区(以下、地域交付金受託校区)では、部会活動の支援や地域事務局の運営支援など、活動をさらに発展させるための支援を行った。一方で、組織強化のフェーズにある校区(以下、計画書策定校区)では、まちづくり計画書の策定支援や地域事務局の設置支援といった、基盤整備と人材の発掘を中心に支援した。

#### ①地域交付金受託校区

交付金受託校区は主に活動支援をすすめた。今年度はまちナビ AKASHI や SNS などを活用した広報支援のニーズが高まった。いずれも校区での活動が充実しており、情報発信の必要性が出てきた状態である。広報が活性化することでお互いに校区情報が入手しやすくなり、校区同士の連携が進み始めている。

また地域事務局が設置されている校区は、会計を中心に事務局支援を進めた。事務局サロンを開催するなど相互の情報交換体制の整備を図った。事務局を設置していない校区についても、他市や市内他校区との視察をコーディネートする等して、他地域との情報交換を意識的に推進して組織力の強化を図

っている。

松が丘 / 中崎 / 和坂 / 花園 / 山手 / 鳥羽 / 江井島 / 魚住 / 錦が丘 / 錦浦 / 清水 / 朝霧 / 林 / 藤江

#### ②計画書策定校区

まちづくり計画書を策定するための会議や意見交換の場づくり、計画書プロジェクトチームの立ち上げ支援など組織強化や、今後の活動につながる支援をおこなった。いずれの校区もプロジェクトチームを中心に新たな動きが見られている。

二見北 / 大久保

#### ③その他校区

まちづくり計画書策定に着手する手前の校区には、組織基盤整備や広報支援をおこなった。これらはまちづくり計画書策定着手に向けた意識啓発を狙っている。

貴崎 / 大久保南 / 沢池 / 二見 / 高丘西



▲まちづくり計画策定のサポート(大久保)



▲住民意見交換会に関わるアドバイス(松が丘)

#### (2) 全体支援

全体支援は地縁型組織、分野型組織の双方に対して、① コーディネート・相談、② 情報共有・発信(提供)、③ 人材育成・活動支援、の3つを進めた。

#### ① コーディネート・相談

# ■個別コーディネート

地域交付金受託校区は活動のフェーズに入っており、校区まちづくり組織でおこなう事業にウィズ あかし登録団体や人材を紹介してほしいといった相談が増えた。校区間での視察もニーズが高まって おり、市内の校区まちづくり組織同士の視察コーディネートを実施した。

また市外からの視察については、視察対応そのものが地域のエンパワメントの機会と捉え、できる

限り視察者と話題が合致する地域とマッチングさせた。

#### 【事例】

- ・林校区、花園校区にスマホ講座を実施する市民活動団体をコーディネート
- ・大久保南校区敬老会にウィズあかし登録団体をコーディネート
- ・居場所づくりを検討している朝霧校区を、登録団体等をコーディネート (明舞ひまわり、みなく一る明舞)
- ・明石校区に複数の登録団体を紹介
- ・朝霧校区と林校区を広報の視点で和坂、江井島へ視察コーディネート
- ・盆踊り大会の改革を目指す朝霧校区を、林、藤江、江井島へ視察コーディネート
- ・亀山市視察対応(林校区まちづくり協議会)
- ・静岡県立大学視察対応(魚住まちづくり協議会)

#### ② 情報共有・発信(提供)

#### ■「まちナビ AKASHI」の改修と運用支援(まちナビ AKASHI 相談会)

平成29年度に公開した地域ポータルサイト「まちナビ AKASHI」について、これまでの運用や各地域からの相談から明らかになった改善点について、改修をおこなった。また、まちナビ AKASHI 内に連合まちづくり協議会の情報発信も運用開始となった。それらに伴い、各校区で情報更新ができるように、校区ごとにまちナビ AKASHI の運用方法支援を進めた。

各校区に出向いての支援とは別に、ウィズあかしで常設のまちナビ相談会を開催した。複数校区が集まるため、まちナビに限らず広報全般の情報共有の場となっている。

#### 【まちナビ AKASHI 勉強会】

まちナビ AKASHI 勉強会では、基本的な情報掲載の方法について講座形式で実施した。しかし、まちナビ AKASHI に関する相談の内容は幅が広いため、2 月からまちナビ AKASHI 相談会として第 1、3 木曜の午後に個別相談の機会を設けた。

	日付	内容	参加者
6	5月11日	・参加者自己紹介 ・まちナビ AKASHI の運用方法 ・改修によってできるようになったこと	6名



▲まちナビ AKASHI トップページ:校区情報によりアクセスしやすくリニューアル

## ■明石市連合まちづくり協議会広報部会の運営支援

明石市連合まちづくり協議会が発行する「明石のまちづくり」の 6、7 号の発行について、事務局を 担い、2 回広報紙を発刊した。今回は、いずれもテーマを決め、市内の多くの校区の活動が一覧になる ように作成支援した。これは、情報を知ることによって校区間の視察につなげることを狙っている。

【「明石のまちづくり」発行内容】

	発行年月	内容	発行部数
第6号	9 月	特 集:校区まちづくり組織と「子ども」 取り組み紹介:「錦浦校区」 その他:「自治会・町内会長新会長研修会」報告など	13,000 部
第7号	3 月	特 集:校区まちづくり組織と「防災」 取り組み紹介:「花園校区」 その他:「自治会への運営状況等アンケート」を実施	13,000 部

#### ■情報紙 With に校区まちづくり組織掲載

ウィズあかしが月1で発行する情報紙「With」に校区まちづくり組織を1校区ずつ紹介するページを設けた。情報は「まちコレ」を引用している。Withは分野型組織に読まれることが多いため、連携のきっかけづくりとして校区まちづくり組織の情報を掲載している。

## ③ 人材育成 · 活動支援

#### ■地域事務局サロンの立ち上げ

各地域事務局の情報交換と、地域事務局を担う人材のスキルアップ、ノウハウの交換を目的として 地域事務局サロンの立ち上げを支援した。各地域事務局を回りながら開催する方式であり、当法人で は、チラシ作成、広報を担い、会の運営は開催地の事務局が担った。

#### 【地域事務局サロン開催内容】

	日付	内容	参加者
第1回	2月21日	・参加者自己紹介 ・地域事務局の役割 ・業務ノウハウ(現金管理、人材育成、校区内組織との連携)	7名

#### ■事例提供者としてエンパワメント

明石市内の校区まちづくり組織が他市の事例となりつつある。そこで、実際に地域で活動している 方が事例提供できるように、校区の活動取りまとめやプレゼン用資料の見せ方、作り方を支援した。 これによって、自分たちの活動を振り返りにもつながっている。

#### 【事例】

江井島校区:地域づくり団体全国研修交流会にて話題提供

林 校 区:亀山市視察受け入れにおいて話題提供

松が丘校区:大阪府交野市教育委員会視察対応(コミュニティ・スクール関係)

和 坂 校 区:第3回「ふるさと創造会議の活動を考える~和坂校区まちづくり協議会(明石市)

の活動事例に学ぶ~(加西市主催)」講演会にて話題提供登壇、ジチラボ plus にて

話題提供

#### ■チャレンジグッズ貸出制度

地縁型組織、分野型組織問わずに、地域の活動において必要な物品の貸出制度を開始した。例えば、4色のビブスは防災訓練や夏祭りで貸出が目立った。その他にも、えんたくん等ワークショップグッズや、防災カードゲームなど1つの組織で持つには使用頻度が低いものを当法人で揃えた。

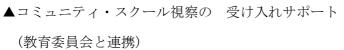
#### (3) 他機関連携

協働のまちづくりを進める中で、コミュニティ関係の部局以外とも連携が必須となっており、それぞれに連携を進めた。中でも福祉部局との連携は必須と考え、積極的に連携をすすめた。以下に内容をまとめる。

連携先	主な連携内容		
明石市連合まちづくり協	明石市連合まちづくり協議会の総会、理事会、懇親会、視察研修などに参加し、校区ま		
議会	ちづくり組織の代表者との関係構築を進めた。		
明石市社会福祉協議会	月に1度、明石市社会福祉協議会(地域総合支援センターの生活支援コーディネーター)、		

	コミュニティ・生涯学習課、当法人での情報交換会議を開催し、地域福祉と地域づくりの
	支援や役割分担について議論を重ねた。また現場のコーディネーターである生活支援コ
	ーディネーターともファシリテーション研修会をおこない、地域での会議の進め方につ
	いて意見交換を行った。
	・生活支援コーディネーターとのファシリテーション研修会の開催(計 4 回)
	・明石市みんみんでのファシリテーション支援
	・無理しない地域づくりの学校運営支援
	・地区社協会長会で協働のまちづくりに関する話題提供
明石市教育委員会(コミ	明石市が進めるコミュニティ・スクールについて、協働のまちづくりと重複する部分が
ュニティ・スクール)	多いため、担当課と連携を進めた。学校運営協議会の設立状況とまちづくり協議会の設
	立状況を比較するなど、実働に向けた基本的な情報共有を丁寧におこなった。
総合安全対策室	連合まちづくり協議会が発行する明石のまちづくり第 7 号の特集まとめの際、各校区で
	の防災の取り組み整理において連携した。また総合安全対策室でできる出前講座の内容
	などについてヒアリングを行った。







▲無理しない地域づくりの学校 (市社会福祉協議会と連携)

# 2. 生涯学習の支援(中学校コミセンの運営支援)

初年度である今年度は、まずモデルコミセンの運営状況やコミセンでの活動実態を把握することを中心に行った。その中で、中コミの主要な課題は「利用者が固定化し、多様な参加が進みにくい運営」にあることが見えてきた。そこでモデルコミセンではより多様な住民に開かれた拠点を目指し、高齢者大学や市民講座の見直しに向け試験的な講座開催などを実施してきた。

また、中コミの現場での実践を重ねると同時に、中コミ自体のあり方を捉え直すために「生涯学習 ビジョン」改定に向けた事務局サポートや、中コミ改革を今後も円滑に進めていくために、中コミ所 長への意識啓発を狙った研修の開催などを実施した。

#### (1) 錦城・大蔵コミセンの実態把握と運営支援

錦城・大蔵コミセンで開催される各種事業や会議などを参観し、中コミの運営実態に関するヒアリングを年間通して行った。また、年度当初は訪問機会を通じてエリアマネージャーやコミセン職員との関係構築に注力し、その中から日々の運営状況や中コミの課題などの把握を進めた。

#### 【訪問内容】

- ・高齢者大学、市民講座など生涯学習事業、その他コミセン祭りなどコミセン主催事業の開催状況確認
- ・コミセン主催の会合、サークル関連の会合へ同席し、運営実態の把握
- ・その他、日常のコミセン開館時の利用状況の把握 など

#### (2) 錦城・大蔵コミセンの生涯学習事業の運営支援

#### ① 生涯学習事業の開講状況、申込者状況の分析

高齢者大学と市民講座の課題と現状を洗い出すために、実際に講座を参観し開講状況や地域住民の利用状況を、参加者や講師から直接声を聞きながら実態把握を行った。また、具体的にどのような地域住民が利用しているのかを把握するために、過去の申込者状況の分析を行った。

#### 【申込者状況の分析内容(市民講座)】

・過去3年分の市民講座の申込者分析(各講座の定員率、校区内住民の参加率、リピーター率など)

#### ② 生涯学習事業の企画・調整の支援、試験的な講座実施

申込者分析をする中で、講座内容や講師選定の偏りから多様な地域住民の参加につながっていない 課題が見えてきた。そのような状況を踏まえ、エリアマネージャーと今後の中コミにおける生涯学習事 業のあり方をすり合わせながら講座内容の企画調整や講師のコーディネート、当日の運営サポートを 行った。

また、生涯学習事業の特徴として単発で受動的な講座が多く、講座に参加する人は講座以外では中コミに関わる機会がほとんど無い形になっている。今後の中コミが地域活動にもつながっていけるよ

うな拠点となるために、地域住民同士の交流の要素を取り入れた事業を試験的に実施した。

#### 【生涯学習事業の企画・調整内容】

・市民講座の企画調整、講師コーディネートの実施: 2019 年度後期 14 講座、2020 年度前期 12 講座 【試験的な講座「えほんカフェ in おおくら」実施内容】

開催日時	F	内容	成果
1月28日 10:00~11::		参加者が絵本を持ち寄り、自由に絵本を楽しみつつ交流を実施	絵本の市民講座参加者など5名が参加。アンケートで「より 交流がしたかった」「また参加したい」という感想があるな ど、交流機会のニーズがわかった。





#### ③ 広報ツールの見直し支援

中コミの唯一の広報ツールであるコミセン通信は、これまでフォーマットを変えずに発行され続けられており、多様な市民が認知されるようデザインの見直しや内容の充実化を行った。

## (3) 中コミ改革の全体展開に向けた支援

#### ① 中コミ所長に向けての生涯学習研修の開催

中コミ改革で目指すこれからの生涯学習や中コミのあり方について、エリアマネージャーや中コミ 所長への中コミ改革への意識啓発を目的に、以下のような研修を開催した。また、中コミ改革に携わ る関係者や市内の生涯学習関連の職員に向けても、これからの中コミ・生涯学習のあり方を共通認識





することも狙い、参加者を広げて開催した。

#### 【研修内容】

開催日時	内容	参加者
8月20日 13:30~ 17:00	「生涯学習研修」 ・講師:岩木啓子(ライフデザイン研究所 FLAP) ・内容:生涯学習のこれまで・これから、生涯学習の場作り	28名 (中コミ所長、あかねが丘学園職員、コミュニティ生涯学習課、コミ創職員)
3月17日 14:00~ 16:00	「地域をつなぐ社会教育・生涯学習」 ・講師:宮田智史(NPO 法人ドネルモ) ・内容:社会教育・生涯学習について、公民館活動の事例紹介	24名 (中コミ所長、あかねが丘学園職員、 コミュニティ生涯学習課、コミ創職員)

#### ② 中コミ所長会でのモデル事業の状況報告

モデル事業を実施してきた中で見えてきた中コミの運営における課題点などを、2月度の所長会でエリアマネージャーから実施報告を行うよう、振り返りとまとめのサポートをした。

#### ③ 生涯学習ビジョン改定に向けたサポート

中コミのあり方そのものをより明らかにするためには、明石市の「生涯学習ビジョン」の改定が重要になる。それに向け、事例収集や資料作成、また生涯学習ビジョン見直しに向けた打ち合わせへの参加、社会教育委員会議の事務局支援などのサポートを実施した。

#### ④ 事例収集、視察、研修参加

モデルコミセンにおける生涯学習事業の見直しや生涯学習ビジョンの改定に向け、他地域での事例 収集を年間通じて実施した。また、実際に視察訪問や研修受講を行い、中コミ運営支援につながる情報収集を行った。

#### 【研修受講】

・新任社会教育関係職員研修(兵庫県生きがい創造協会)、ひょうごリカレント共育フォーラム(兵庫県)

#### 【視察訪問】

・NPO 法人ドネルモ訪問 (公民館支援事例ヒアリング)、福岡市別府公民館訪問 (活動状況のヒアリング)

# Ⅲ.市民の主体的な活動支援事業

# 1. B-1 グランプリ in 明石におけるボランティアマネジメント支援

当法人の市民参加のプロデュース力が評価されて、11月23・24日に開催されたB-1グランプリin明石でのボランティアマネジメントを明石市より受託した。イベント開催当日までのボランティア募集等の企画から、研修会や説明会の開催、活動マニュアルの作成、チーム編成等を担当した。当日は約2,000人を超えるボランティアが活躍し、成功裏に終えることができた。

【B-1 グランプリ in 明石 ボランティアマネジメント実施内容】

イベント開催日 : 2019年11月23日(土)・24日(日)

ボランティア人数:2,070名(2日間延べ)

#### 受託業務内容:

- ・ボランティアチームの編成及び運営
- ・ボランティア用マニュアルの作成
- ・ボランティア研修会及び説明会の開催
- ・ボランティアとの連絡、調整
- ・ボランティアグッズの準備 等



#### 2. 地域づくり団体全国研修交流会 in 兵庫 明石分科会の企画・運営

地域づくり団体全国協議会が主催する第37回地域づくり団体全国研修交流会が兵庫で開催され、 その第2分科会を明石コミュニティ創造協会が担当した。兵庫県外からの参加者26名と共に、主体 的な地域づくりに資する意見交換を目的とした1泊2日の研修旅行を行った。

分科会では、市内のまち協やウィズあかし登録団体による活動内容や活動拠点の紹介を行い、明石での地域づくりを PR するとともに、分科会参加者との意見交換の機会とした。また1日目夜の交流会においても明石市内からの参加者を募り、まち協や登録団体を中心に21名の参加者が集まった。計47名の交流会となり、ここでも明石市内外の活動者同士で活発な交流が行われた。

【地域づくり団体全国研修交流会 in 兵庫 明石分科会 実施内容】

日 時:2019年11月9日(土)~11月10日(日)

場 所:明石市内各所

参加者:26名(明石市内からの交流会参加者:21名)

プログラム:11月9日…オリエンテーション、交流会

11月10日…市内の名所・活動拠点を巡るバスツアー、ウィズあかしで振り返り





#### 3. 中間支援活動助成

2018年度に引き続き、中間支援助成補助事業に採択された。基本事業では、「ステップアップマップに即した市民活動団体の活動実態調査と自立ステップアップサポート強化事業」として、ウィズあかしグループ登録団体を中心にテーマ型市民活動団体の活動実態調査とそれに合わせた運営支援をおこなった。企画立案事業では「地縁型コミュニティの量的・質的拡充にむけエンパワーメントの多層化モデル構築事業」として、地域自治に関する勉強会ジチラボを開催するなど地域自治に関する支援者のネットワークづくりをすすめた。基本事業、企画立案事業ともにまとめ冊子を作成した。

#### (1) 基本事業:市民活動ステップアップに即した活動実態調査】

支援スタッフが市民活動団体の幅広い相談に効果的に乗るための 実態把握、及び市民活動団体にとっての客観的な活動の振り返り機 会として「活動実態調査」(手法:団体へのヒアリング、NPOへの訪 問調査、アンケート調査)を実施した。また、分析の過程では昨年度 助成事業で作成した「ステップアップマップ」で設定した市民活動 団体のステップとフェーズの分類について改めて検証を行った。調 査結果は報告書として発行した。発行部数:700部〈A4、39ページ〉

また、活動実態調査を通じて把握したフェーズ別の課題やニーズ をもとにステップアップを支援した



# (2) 企画立案事業:地縁型コミュニティにかかわる支援者、各種分野専門家との研究会 「ジチラボ〜みんなでつくるみんなの自治〜」の開催

▶Vol.1「自律を促す伴走型まちづくり」 — 8月29日 (話題提供者: 奥河洋介/参加人数:15名)

▶Vol. 2「『これからの理想の自治組織と、 それらをつくるプロセス』を考える」— 10月30日 (話題提供者:奥河洋介・戸田幸典・柏木登起/参加人数:30名)

▶Vol.3「『動員制は担い手をつくれるのか』を考える」 — 12月24日 (話題提供者:西川正/参加人数:11名)

▶Vol. 4「地域福祉を考える —2月8日 ~コミュニティワークとコミュニティソーシャルワークを捉える~」 (話題提供者:松端克文/参加人数:8名)

▶Vol.5「"地域での学び"を考える ~これからの社会教育・生涯学習のあり方とは~」— 3月17日 (話題提供者:宮田智史/参加人数:13名)





# (3) 企画立案事業:地縁型コミュニティにまつわるフォーラム

「ジチラボ plus 地域自治へのアプローチ」 の開催

日 時:2020年2月15日(土)13:30~17:30

場 所:複合型交流拠点ウィズあかしフリースペース・学習室 701B

内 容:これからの地域自治についてゲストレクチャーと分科会で議論を深める。

第1部 全体会 ゲストスピーカー 斎藤主税

(NPO 法人都岐沙羅パートナーズセンター理事・事務局長)

第2部 分科会

第3部 全体会まとめ

参加者:71名



# 分科会内容:

	テーマ	分科会話題提供者
分科会 1	地域運営組織と自治会〜補完性の原則を改め て考える〜	・人・まち・住まい研究所 浅見雅之 ・和坂校区まちづくり協議会 入江俊勝
分科会 2	地域づくりと地域福祉の関係性〜コミュニティワークとコミュニティソーシャルワークの 違いを考える〜	・NPO 法人都岐沙羅パートナーズセンター 斎藤主税 ・兵庫県立大学環境人間学部 竹端寛
分科会 3	地域における生涯学習の役割~コミュニティ・ スクールと地域づくり~	・明石市教育委員会 北本章 ・姫路市立手柄小学校 三浦一郎
分科会 4	地域自治を支援する中間支援とは~市民活動 支援センターの役割を考える~	・株式会社地域計画建築研究所、丹波市市民活動支援センター 戸田幸典 ・NPO 法人まちづくりネット東近江 森下瑠美

\*ジチラボ及びジチラボ plus 議論はレポートとして蓄積し、冊子として発行した。

発行部数:500部〈A4、20ページ〉

# 4. 視察受け入れ、講師派遣等

ウィズあかし運営、地域支援、市民活動支援などの複合的な動きについて多数の視察、講師依頼を 受けた。

# 【視察受け入れ実績】

日時	視察者	内容	人数
6月20日	東大阪市中鴻池リージョンセンター	明石コミュニティ創造協会の紹介 ウィズあかしの概要 ウィズあかし事業の紹介	12 名

7月9日	大分県企画振興部おおいた創生推進課	中間支援組織の体制、運営について 地域運営組織への中間支援について	2名
8月27日	吹田市立市民公益活動センター	明石コミュニティ創造協会の紹介 ウィズあかしの概要 ウィズあかし事業の紹介 施設見学	3名
9月4日	東急都市経営戦略室戦略企画グループ次 世代郊外まちづくり担当	明石コミュニティ創造協会の紹介 ウィズあかしの紹介 明石の地域事情全般	3名
9月25日	一般財団法人自治研修協会	明石コミュニティ創造協会の活動	5名
10月20日	NPO 法人シミンズシーズ	ウィズあかし事業の紹介 施設見学	9名
1月13日	NPO 法人寝屋川市民活動ネット・なかま	明石コミュニティ創造協会の紹介 ウィズあかしの概要 ウィズあかし事業の紹介 施設見学	8名
1月17日	河内長野市自治安全部自治協働課	明石コミュニティ創造協会の紹介 ウィズあかしの概要・事業紹介 ウィズあかし事業の紹介 地域運営組織への中間支援について	3名
3月12日	尼崎市・(株) 地域環境計画研究所	明石コミュニティ創造協会の紹介 ウィズあかしの概要・事業紹介 ウィズあかし事業の紹介 地域運営組織への中間支援について	3名
3月13日	兵庫県立大学・日本福祉大学	中間支援組織の体制、運営について 地域運営組織への中間支援について	3名

# 【講師派遣実績】

内容	派遣日	依頼者	テーマ	派遣者
講師	5月13日	明石市高齢者大学校あかねが丘学 園	コミュニティについて	柏木登起
講師	5月22日	錦城コミュニティ・センター	錦城コミュニティ・センター高 齢者大学	木上裕貴
パネリスト	6月1日	日本 NPO 学会	日本 NPO 学会第 21 回年次大 会・公開シンポジウム	柏木登起
委員	6 月	明石市福祉局地域共生社会室	2019 年度明石市シニア活動応援 事業補助金選考委員	柏木登起
講師	6月19日	高丘コミュニティ・センター	高丘コミュニティ・センター高 齢者大学	木上裕貴
講師	7月3日	一般財団法人大阪府男女共同参画 推進財団	平成 31 年度「大阪府における 男女共同参画施策に関わる市町	柏木登起

			村職員の研修プログラム (ステップ II)]」	
講師	7月17日	京都造形芸術大学 学長 尾池和夫	特別講義「プロフェッショナル 研究」	宮内龍太郎
講師	7月24日	大蔵コミュニティ・センター	大蔵コミュニティ・センター高 齢者大学	木上裕貴
相談会	9月5日 2月6日	子育て支援センターおおくぼ	出張就労相談	竹坊由理
講師	10月11日	草津市教育委員会	令和元年度第2回「学びの地域 支援講座」	柏木登起
講師	10月29日	有限責任事業組合まちしごと総合 研究所	深草まるごとつながりネットワ ーク 2019	佐伯亮太
講師	11月16日	姫路市手柄地区連合自治会	手柄地区地域活動充実支援事業	佐伯亮太
講師	12月13日	加西市ふるさと創造課	地域づくり支援セミナー	柏木登起
講師	1月17日	加西市ふるさと創造課	地域づくり支援セミナー	佐伯亮太
委員	1月28日	公益財団法人ひょうごコミュニティ財団	「輝け加古川みらい基金」2020 年度選考委員	佐伯亮太
講師	1月29日	湖南市総務部人権擁護課	自治会にかかる男女共同参画講 座	柏木登起
講師	1月30日	伊丹市地区社協等連絡会	第2回伊丹市地区社協連絡会	柏木登起
講師	2月1日	明石市立望海コミュニティ・セン ター	望海コミュニティ・センター高 齢者大学	宮内龍太郎
講師	2月4日	堺市市民協働課	堺市自治会活動理解促進セミナ ー	佐伯亮太
ファシリテー ター	2月7日	兵庫県企画県民部地域振興課	持続可能な地域づくりに関する 研修会	柏木登起
講師	2月26日	アーバンふれあいサロン	地域でいきいき暮らすためのコ ミュニケーション	宮内龍太郎

## 【実習生受け入れ】

神戸学院大学心理学部の現場実習施設として、実習生の受け入れを行った。相談室が市民に向けて行っているエンパワメントの取り組みを実地に学び、男女共同参画について理解を深めることを目的として、講座の運営や参加支援の場を提供した。次年度以降も教育機関との連携強化を図っていきたい。

◎実施日:2019年11月27日

◎人 数:4名

# 【トライやるウィーク受け入れ】

トライやるウィークとして、中学生2人を受け入れた。

◎期間:2019年6月4日~6月7日

◎人数:2名

# 【インターンシップ受け入れ】

丹波市市民活動支援センターからの依頼によって当法人の地域支援についてインターンシップを受け入れた。

◎期間:9月12日~9月16日

◎人数:1人

# 【各種ネットワークへの参加・連携】

#### 主な機関

- ・あかし女性応援ねっと
- ・ひょうご中間支援団体ネットワーク
- ・小規模多機能自治推進ネットワーク
- ・兵庫県災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議
- ・ひょうご女性未来会議 等

# Ⅳ. 法人管理

# 1. 人員体制 ※2020年3月31日現在

# 【役員体制】

評 議 員:石井美弥子、川島幸夫、高岸益子、藤本庸文、宮内正次、門前喜康、山本洋子

理 事 長:永野潔 (常勤理事)

常務理事兼事務局長:柏木登起(常勤理事)

理 事:澤井康樹、竹内利江、久隆浩、福田ひとみ、山下孝光

監事:乗鞍良彦、藤田道広

# 【スタッフ】

事務局員:市出向職員5名、プロパー常勤職員11名、パート職員13名

# 2. 会議体

#### 【評議員会】

第 20 回評議員会 (6 月 28 日): 2018 年度事業報告 (報告)、2018 年度決算承認 (議案)

評議員の選任 (議案)、理事・監事の選任 (議案)

定款変更 (議案)

第 21 回評議員会 (3 月 10 日): 2019 年度事業計画 (報告)、2019 年度予算 (報告)

#### 【理事会】

第23回理事会(6月13日):2018年度事業報告、決算報告、各種規程類の改定、評議員会の開催等

第24回みなし理事会(7月5日): 役員の選定

第25回理事会(10月9日):2019年度補正予算、2020年度事業展開、人員体制の強化

第26回理事会(2月13日):2020年度事業計画、2020年度予算、各種規程の改定等、

第27回みなし理事会(3月31日):2020年度事業計画、2020年度予算、各種規程の施行・変更

# 【その他の会議】

- ·理事運営会議(年3回開催)
- ・職員全体会 (毎月第1月曜に開催)
- ・その他各チーム別会議等 (随時開催)